

# 三国岳（さんごくだけ）959.1m 新ルート追加

ポンポン山雑感

地形図「久多・古屋」

2017年11月6日

三鍋敏郎

朽木古屋の郵便局を越えてすぐ針畑川に架かる橋を渡った場所に車を停める。近所の民家の小父さんに車を停める許可を頂いた。

暫くはぬかるんだ林道を歩き、支流保谷の出合から西に向かう。モチノキ谷を越えると二つ大きな谷と合流。合流点の一本のトチの大木が倒れている。先日の台風の被害だろうか。合流点にある大トチを目印に谷沿いに南下する。しばらく進むと二俣に出合うが、地形図を見て左を選び、しばらく進むと三国岳への道標があるのでそれに従い尾根に取り付く。尾根にはイワカガミ・イワウチワが交互に現れるが、双方が混成している場所もあり、早春には楽しめるだろう。この尾根には古木の世代交代が多く見られる。大木は伐採されたのか倒壊したのか、もはや不明だが古木の上に何種類もの木々が競うように根を下ろし、生存競争の真っ最中である。国境尾根手前に寛政時代の一石一字塔がある。昔の郵便屋さんとは徒歩で峠を越えて隣村まで手紙を届けたという話を村の古老から聞いたことがある。

県境尾根に取り付くと穏やかな稜線歩きの道となる。暫く行くとピーク 683mのある下山予定の尾根が左手前方に見えてくる。予想通り自然林が多いので秋色に色づき輝いている。下山予定の尾根を過ぎるとやや登りとなりピーク 941mへの吊尾根手前で急登になる。シャクナゲが多い痩せ尾根だ。登りきると穏やかな広い尾根に変わる。この辺りにはヤマグルマの木が多い。台風の影響かブナやミズナラの巨木の倒木が多くみられる。経ヶ岳との分岐点にあったブナの巨木も残念ながら倒木している。

三国岳山頂は東面に展望が開けている。伊吹山や遠く白山が望める。丁度ランチタイムなのでゆっくりと過ごす。風もなく天気も良く碧空の広がる最高の休憩。

食事後、下降予定地点まで引き返す。尾根の始まりに顕著なピークは無いが、地形図を見ると国境尾根が逆「くの字」の屈折角から目的の尾根が始まっているので全員で検証する。尾根の方向と下山予定の尾根の方向を確かめて突入。暫くは北東に向かう。ここもシャクナゲが多いので5月辺りが楽しめるだろう。尾根の方向が北向きに変わる。ユズリハの木が行く手を遮る場所があるが、獣の踏み跡を探することで抜け道は発見できる。標高 660m辺りで尾根は東に向かう。自然林の快適な尾根が続き、心が躍る素晴らしく快適な尾根で問題なく林道に出た。今回も達成感のある山歩きが出来た。全員の顔が喜びに満ち溢れ良い顔をしている。

★メンバー 西川・佐々木・大塩・楠見・三鍋 ★コース 古屋登山口 8:46～大トチ分岐 9:21 発 25～支流分岐 10:40 発 45～国境尾根 11:42～下山道分岐 11:55～三国岳 12:00 発 33～下降点 13:20 発 25～P683m 13:57 発 14:00～林道 15:07～15:23